|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| HRNO |  | 氏名 |  |

2022年度　SW-ingリサーチ「地域が抱える問題について」ルーブリック

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ４ | ３ | ２ | １ |
| ①テーマ（問題）設定 | ・現状分析に基づき、大テーマ（地域が抱える問題）に関連した、明確なテーマが設定されている。 | ・大テーマに関連した、明確で絞り込んだテーマが設定されている。 | ・テーマが絞り込めていない。・テーマ設定が大きすぎて焦点がぼやけている。 | ・大テーマ（地域が抱える問題）との関係性が曖昧である。・テーマとしてわかりにくい。 |
| ②情報収集 | ・意見や考えの根拠となる信頼できる情報をまとめている。・情報をわかりやすい形（グラフや表に追記等）で掲示している。 | ・提示した情報（データ・グラフ等）が、意見や考えの根拠となっている。・情報の出典元が明らかである。 | ・根拠となる情報が提示されている。・情報の量が多すぎる、または少なすぎる。・情報の出典元が不明、または不確かな情報である可能性がある。 | ・使用している情報（データ・グラフ等）がテーマとの関係性がうすい。・テーマなどの根拠となる情報が示されていない。 |
| ③スライド資料 | ・わかりやすいキーワードやフレーズを使い、効果的なアニメーションを利用しており、発表内容をわかりやすくインパクトのあるものにしている。 | ・スライド全体が美しい仕上がりで、キーワードやフレーズ、図等を使い要点をうまくまとめている。 | ・スライド全体はまとまっている・文章の羅列がほとんどで文字が多すぎる。・スライド数が多すぎる、または少なすぎる。 | ・スペースが目立ちスライドの大きさと文字の大きさ等のバランスが悪い・色使い等に統一感がない。・誤字脱字がある。・関連性が薄いスライドが多い。 |
| ④情報分析解決策 | ・提案する解決方法の根拠がはっきり述べられており、その方法を選択した理由がその効果や課題の両面から考えられている。 | ・具体的かつ効果的だと思われる解決方法が提案されている。・情報分析に基づいた意見が掲示されている。 | ・設定した問題点を解決するための方法が提案されているが具体的でない。・実現が難しい、効果が期待できない提案がなされている。・情報分析が根拠となった解決策になっていない。 | ・必要のない説明（誰もが知っている内容）や前置きが長く論点がぼやけている。・情報の分析ができていない。 |
| ⑤発　　表 | ・聴衆を見ながら適度な間を取って、問いかけやアイコンタクトにより理解を確かめながらわかりやすく発表している。 | ・スライドを上手に活用しながら、大きな声で堂々と発表できている。 | ・原稿やスライドの内容をそのまま読んでいる。・声が小さく聞き取りにくい。 | ・発表の準備ができていない。 |
| ⑥発表時間（5分） |  |  | 発表時間は長短３０秒以内 | 発表時間に長短30秒以上１分以内のずれがある　1分以上は０点 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ① |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ② |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ④ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑤ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ⑥ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |  |  |  |